

# 文芸資料研究所『年報』『別冊年報』の編集及び投稿に関する要領

## (目的)

第1条 この要領は、実践女子大学文芸資料研究所（以下

「研究所」という。）規程第2条に基づき、研究所が発行する「年報」「別冊年報」（以下「年報等」という。）の編集及び投稿に関する必要な事項を定める。

## (編集委員会)

第2条 年報等の編集のために、次の各号の者を構成員とする編集委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- (1) 所長
- (2) 専任研究員
- (3) 兼務研究員
- 2 委員会委員長は、所長とする。
- 3 委員会は委員長が招集し、議長となる。

## (委員会の任務)

第3条 委員会は、年報等及び研究所の刊行物に関する次の事項を行う。

- (1) 編集方針の決定
- (2) 投稿原稿の査読

(3) 寄稿依頼と原稿料の決定

(4) その他、研究所刊行物に関わること

## (寄稿資格)

第4条 年報等に寄稿できる者は、次の各号の者とする。

- (1) 所長
- (2) 専任研究員
- (3) 兼務研究員
- (4) 客員研究員
- (5) 委員会が認めた者

## (寄稿原稿)

第5条 寄稿原稿は未公刊かつ学術的な内容を有するものとする。

- 2 寄稿資格を有する者は、所定の「申請書」で投稿の意思の有無を示すものとする。
- 3 寄稿原稿の書式は、別途推奨書式を定める。
- 4 寄稿原稿は、別途定める期日までに提出するものとする。

## (査読)

第6条 寄稿原稿の査読は、委員会が責任をもってこれを

行い、採否を決定する。

2 採否の結果は、委員会から投稿者に連絡する。その際、原稿の修正等を要請することができる。

3 委員会は、編集委員以外の適任者を臨時査読員として任命することができる。ただし、臨時査読員を推薦できるのは、編集委員に限る。

4 臨時査読員に対する査読料については、委員会の議を経て支払うことができる。

### (著作権)

第7条 年報等に掲載された著作物の著作権の取り扱いは次の各号のとおりとする。

(1) 掲載された原稿に関する著作権は、執筆者に帰属する。

(2) 図版を掲載する場合、執筆者はあらかじめ権利者から掲載許可を取得する。掲載料が発生した場合には、原則として執筆者が支払うものとする。ただし、本学所蔵の資料に関してはこの限りではない。

(3) 翻訳・翻案等二次的著作物についての原著作物の権利者との間の権利処理(翻訳・翻案権等の許諾)は執筆者が行う。

### (論文の公開)

第8条 年報に掲載された著作物は、原則として「実践女子大学学術機関リポジトリ」にてweb公開するものとする。

### (経費)

第9条 研究所は、年報執筆者に掲載著作物1件につき抜刷30部を進呈する。それ以上を希望する場合、費用は執筆者の負担とする。

2 別冊年報執筆者が掲載誌を希望する場合については、研究所と協議の上、適切な部数を進呈することができる。

### (その他)

第10条 本要領に定めのない事態が生じた場合は、委員会が判断する。

### (改廃)

第11条 この要領の改廃は、研究所運営会議の議を経て、実践女子大学研究推進機構会議が行う。

### 附則

この要領は二〇二二年七月二日から施行する。  
附則(二〇二四年一月二〇日改正)

この要領は二〇二四年一月一日から施行する。